

研究活動報告

日本人口学会2010年度・第1回東日本地域部会

日本人口学会2010年度第1回東日本地域部会は、2010年9月3日(金)、札幌市立大学サテライトキャンパス(北海道札幌市)にて開催された。報告タイトルと発表者は下記の通りである。

1. 「都道府県別合計特殊出生率の算出手法に関する一考察」……………石井憲雄(東北大学大学院)
2. 「飛騨白川村における複合の家『大家族(制)』終焉期における人口移動」
……………飯坂正弘(農研機構 中央農研)
3. 「近年の日本における外国人の出生」……………山内昌和(国立社会保障・人口問題研究所)
4. 「地域メッシュ統計の区画変化に伴う時系列比較可能性に関する検討
—日本測地系・世界測地系間およびメッシュ階層間の比較を中心として—」
……………小池司朗(国立社会保障・人口問題研究所)
5. 「人口減少が地域社会に与える影響：札幌市の生産年齢人口と社会指標」
……………原俊彦(札幌市立大学)

幅広い分野にわたる報告が行われたが、あえて全体をキーワードでまとめるとすれば、「地域人口」と「時系列分析」であろう。諸事情により地域人口データの取り方は時点によって異なり、その点が分析にあたっては支障となることが多いが、今回の報告では様々な形でデータの問題を克服する試みがみられ、いずれも興味深い内容であった。(小池司朗記)

日本地理学会2010年秋季学術大会

日本地理学会2010年秋季学術大会が2010年10月2~4日(4日は巡検のみ)に名古屋大学(愛知県名古屋市)で開催された。一般発表99件、ポスター発表26件のほか、10のシンポジウムで77件の発表があった。人口関連分野の報告も多数行われ、シンポジウム「変容する生業社会の人口とライフコース」では、フィールド調査に基づいた小規模人口集団に関する人口研究の成果が多数報告された。以下、主なものについて発表題目を紹介する。

- 「沖縄県の夫婦出生力における家族形成規範と理想子ども数の影響
—沖縄県南部の都市的地域と農村的地域の調査をもとに」
……………山内昌和(社人研)・江崎雄治(専修大)・西岡八郎・小池司朗・菅桂太(社人研)
- 「新潟県における二次医療圏別標準化死亡比の地域差」
……………北島晴美(信州大)・太田節子(信州医療福祉専門学校)
- 「エチオピア焼畑社会の出生力変化とその要因」……………佐藤廉也(九州大)
- 「ソロモン諸島の農耕社会における高出生力とその変化」……………中澤港(群馬大)
- 「半島マレーシアの狩猟採集社会における定住の強化に伴う人口と女性のフォーレンジングの変化」
……………口蔵幸雄(岐阜大)

- 「ラオスの自給的水田農村の出生力低下」……………高橋眞一（新潟産業大）
「ラオス中部農村からタイへの国際人口移動」……………中川聡史（神戸大）
「ネパール山岳地域住民の外出行動－ポーターから海外出稼ぎへ」……………溝口常俊（名古屋大）
（山内昌和記）

地理情報システム（GIS）学会2010年度研究発表大会

地理情報システム学会2010年度研究発表大会は、2010年10月23日（土）・24日（日）、立命館大学衣笠キャンパス（京都府京都市）にて開催された。今回で19回目を迎えた本大会は、GISの普及発展とともに規模が大きくなり、多岐にわたる報告・ポスターセッションが行われた。丸2日に及ぶ多数の報告のなかから、とくに地域人口分析と関連の深いものを以下に記す。

- ・「戦前の六大都市における小地域人口統計データベースの構築」……………桐村喬（立命館大学）
- ・「国勢調査基本単位別集計データを用いた狭小商圏の人口推計
－町丁・字等別集計データとの比較－」……………草野邦明（助統計情報研究開発センター）
- ・「市町村通勤データを用いた都市圏設定」……………福本潤也（東北大学）・北野翔太
- ・「明治・大正・昭和初期における琵琶湖淀川流域の人口分布変化」
……………山下亜紀郎（酪農学園大学）
- ・「がん早期診断の地理的格差：大阪府がん登録資料の小地域空間解析」
……………中谷友樹（立命館大学）・井岡亜希子・津熊秀明
- ・「日本の地方都市におけるフードデザートマップの作成とその比較」
……………駒木伸比古（首都大学東京）
- ・「首都圏における不動産の高齢化に関する空間分析」……………川向肇（兵庫県立大学）・岩場貴司
（小池司朗記）

2010年度人文地理学会大会

2010年度人文地理学会大会が、2010年11月20日～22日（22日は巡検のみ）、奈良教育大学（奈良県奈良市）において開催された。60件の一般研究発表、および4件の特別研究発表が行われ、この他に同時開催された研究部会で4件の研究発表がなされた。人口関連分野についても多くの発表があった。以下、主なものについて発表タイトルを記す。

- 「近代移行期の天然痘による疾病災害研究の課題」……………川口洋（帝塚山大学）
「中山間地域のUターン者・Uターン者の実態－和歌山県新宮市の事例から－」
……………中村拓・今井藍子・寒川万里菜・平川隆啓（大阪市立大学）
「兵庫県農村地域におけるUターン・Iターン移動－多可町加美区の事例－」
……………中川聡史（神戸大学）
「2000年以降の京都府における市区町村人口の変動過程
－人口の自然増加と社会増加を用いた類型化による分析－」……………山神達也（立命館大学）
「明治末期以降の日本の六大都市における小地域人口統計」……………桐村喬（立命館大学）